

消防署の訓練風景を紹介します(CPA 対応訓練)

C P Aとは、心肺停止状態のことをいいます。向日消防署では、傷病者を観察し、必要な処置を行い、速やかに医療機関に搬送するため、日夜訓練に取り組んでいます。

今回は、向日消防署のC P A対応訓練の様子を紹介します。



訓練進行から指令が伝えられます。
指令内容は出動の種別（急病や交通事故など）、出場場所の住所、周囲の目標物、出場車両などです。



椅子が変な形に並んでいますが、これは救急車の中を再現しています。
出場中の車内では無線で情報収集したり、傷病者の症状に合わせて必要な資器材を準備したりしています。



救急隊長が先着し、詳細な観察をしています。

観察の結果、傷病者は心肺停止の状態であることが確認できました。



隊員が到着し、心電図解析の結果、電気ショックが有効な波形であったため電気ショックを行っているところです。

電気が他に流れないように、傷病者に触れないようにしています。



後着の消防隊が到着し、協力して活動している様子です。

救急隊員から心臓マッサージを引き継ぎ、搬送の準備を行っています。



傷病者を消防隊に引き継いだ救急隊員は救急車に戻り、点滴などの処置の準備を行います。



消防隊と救急隊で協力して傷病者をストレッチャーに乗せ、これから救急車内に搬送しようとしています。

搬送中も心臓マッサージは継続して行います。



救急車内では必要に応じて医師に
電話で連絡し、医師の指示のもと
活動を行います。

ビデオ喉頭鏡という資器材を活用
して人工呼吸のため気管に管を入
れる気管挿管や、静脈に針を刺し
て点滴を行う静脈路確保、また、強
心剤の投与などは、それぞれの資
格を持つ救急救命士のみが行うこ
とができます。





様々な処置の結果、病院到着前に
傷病者の心拍が再開しました。

人工呼吸を継続しながら病院に向
かいます。

また、医師に状況を正確に伝える
ため、時間などの記録も欠かせま
せん。



無事に医師に引き継ぐことができました！

